

研究所日誌

2002年9月

- 09/07(土) 【研究会】 「地域通貨 Peanuts に学ぶ」(南大塚社会教育会館)
09/10(火) 協同集会(千葉)第5回実行委員会 (労協船橋)
09/11(水) 協同組合青年ミーティング (大学生協会館)
09/12(木) 山極先生打ち合わせ
09/13(金) センター東京北部エリア 学習会
09/15(日) 九州・山口会員のつどい (福岡)
09/17(火) 【研究会】 「企業組合制度整備」 (明星大学)
09/18(水) 協同集会分科会打ち合わせ(千葉大)、 奥平氏来訪
09/28(土) 第1回理事会 (明治大学) 9.28 市民大集会 (千代田公会堂)

編集後記

今年度の総会の時であったか、京都の荒木顧問と以前原稿を書いていたいただいた演劇ワークショップについてお話しする機会があり、たまたま「らくりん座」という劇団の話になりました。実は「らくりん座」は私の故郷、栃木県の劇団で私も子供のころ何度も学校やらくりん座の劇場で公演を見たことがあります。懐かしくなって、いろいろお聞きしたら、荒木さんはらくりん座と長年交流を続けているとのことでした。

その一つが今月号でご紹介した大田原赤十字病院での看護師研修ドラマスクールで、病院と看護協会などが主催しているのだそうです。この病院は私の通っていた高校のすぐ近くにあり、友人も多く働いているはずで、詳しくお聞きしているうちに、その内容を2回に渡って書いていただくことになりました。

『ワークショップ』(中野民夫著・岩波新書)によれば、もともと演劇やアートの分野で行われてきたワークショップは、「参加型グループ学習」の方法として最近企業の研修やまちづくりにも多く取り入れられてきています。「協同労働」を発展させていくために、このような学びと創造の場をもっともっと取り入れていく必要があるように思います。

(菊地 謙)

(お詫びと訂正)「協同の発見 2002年9月 No.123 P.24 下から6行目の英文が文字化けしています。正しくは (people's process) です。お詫びして訂正いたします。